

5年生、集団宿泊教室が行われました。

8月29、30日に、菊池少年自然の家にて、大津南小学校と合同で、5年生が、集団宿泊教室を行いました。

雨で屋外の活動はあまりできませんでしたが、施設内での活動がたくさんできました。初日の最初の活動は、自然体験。マスつかみ、マスを気絶させて、内蔵を取り、串に刺し、塩をかけるということを全員が行いました。生き物に触れる機会に、子どもたちも活気が出て、良い体験ができました。マスは炭火で焼いてもらい、昼食においしくいただきました。



また、午後からは、室内でいろいろなゲームを行いました。限られたスペースに、何人立てるかを競いました。班ごとに工夫していました。大津南小学校との合同の班でしたので、仲良くなれる良い機会となりました。

子どもたちは、協力する大切さを学んでいました。部屋での活動や入浴、食事など、日頃ではできない体験を数多くすることができた有意義なひとときとなりました。

運動会に向けて、結団式を行いました。

9月21日（土）の運動会に向けて、9月5日（木）に、体育館で、赤団、白団ごとに運動会の結団式を行いました。応援リーダーのもと、気迫あふれる出発となりました。



運動会に向けて、全体練習に励んでいます。

9月11日（水）3校時に、運動会に向けて全体練習をしました。第1回目のこの日は、入場行進、開会式の練習をしました。入場行進前の並び方を確認して、入場行進の練習。スタートのタイミングや曲がる場所の確認等をして、トラックの中への入場をやってみました。笛の合図に合わせて、子どもたちは上手にできました。

暑い中でしたが、きびきびした動きでよく頑張りました。



また、大津中学校から、職場体験で本校に8：15～15：30で、3人の中学生がやってきました。

11日～13日の3日間でした。運動会の練習だけでなく、授業中にも各学年に入り、子どもたちの学習の支援を行いました。本校の子どもたちは、中学生に大津中の様子なども尋ねながら、交流を重ねていきました。職場体験に来てくれたのは、大津中学校2年生の小田さん、松村さん、東さんの3人でした。小田さんは、本校の卒業生だそうです。

人権学習コーナー

2017年3月、日本政府はいじめ防止基本方針の改訂を行い、LGBT生徒の保護の項目がはじめて盛り込まれました。これに先立ち、2016年には教職員向けに、LGBT生徒への対応を記した手引きも発行しています。

しかし、実際はいまだにLGBTに対する差別やいじめがあるのが現状です。

LGBTとは、性的少数者の総称を言います。「レズビアン(女性同性愛者)」、「ゲイ(男性同性愛者)」、「バイセクシュアル(両性愛者)」、「トランスジェンダー(性別越境、性別違和)の頭文字をとって名付けられました。とくに、トランスジェンダーの概念は幅広く、心の性別と体の性別が一致しない方は、FTM(Female To Male=女性から男性)やMTF(Male To Female=男性から女性)と呼ばれ、心の性別がなく、無性・中性として生きている方は、FTX(Female To X)やMTX(Male To X)と、細かく分類されます。

最近、マスコミでもクローズアップされてきて、世間の関心も高く、正しい認識も広まってきています。本人が、「自分は、じつは・・・」と打ち明けることをカミングアウトといいますが、それを聞いた人が本人の承諾なしに他人にそれを伝えると、それはアウティングといい、人権侵害となります。

アウティングされて自殺した大学生もいて、大きな社会問題にもなりました。人権が尊重される社会づくりのために、私たち一人一人の言動が大切です。